

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	愛知工科大学自動車短期大学
設置者名	学校法人電波学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
愛知工科大学 自動車短期大学	自動車工業学科	夜・通信	2	—	48	50	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページーキャンパスライフー学生便覧・授業概要ー実務経験のある教員による授業科目一覧 ( <a href="https://www.aut.jc.ac.jp/campuslife/handbook/">https://www.aut.jc.ac.jp/campuslife/handbook/</a> )
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知工科大学自動車短期大学
設置者名	学校法人電波学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人電波学園 Web サイト「学園の概要」「役員名簿・規程等」 ( <a href="https://www.denpa.jp/about/index.html">https://www.denpa.jp/about/index.html</a> )
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士	R5. 10. 1～ R9. 09. 30	法務担当
非常勤	元設置専門学校校長	R5. 10. 1～ R9. 09. 30	法務担当
非常勤	弁護士	R5. 10. 1～ R9. 09. 30	労務・法務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知工科大学自動車短期大学
設置者名	学校法人電波学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学科のカリキュラム・ポリシーをうけて、学生の成長モデルに基づき、各学年に対して教育課程(シラバス)編成方針をまとめ、授業概要に示している。</p> <p>教育課程(シラバス)の見直しは、毎年度学科方針として掲げられており、適宜内容の見直し・検討を教務委員会が中心になり行っている。また、その際には学習成果に対応した授業科目を編成するよう留意している。</p> <p>シラバスの作成においては、学務課より担当教員に作成を依頼している。提出されたシラバスを学務課にて取り纏め、学科長、教務委員会委員長及び学務課長にて、カリキュラム・ポリシーに沿ったシラバスが作成されているか確認を行っている。</p> <p>シラバスの公表については、入学時に「学生便覧・授業概要」として冊子にして配布している。また、短期大学のホームページに公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページーキャンパスライフー学生便覧・授業概要 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/campuslife/handbook/">https://www.autjc.ac.jp/campuslife/handbook/</a> )
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定、進級判定は、規定されている各基準条件に基づき運用されている。</p> <p>具体的には、以下のとおりである。</p> <p>単位認定は、各科目教員がシラバスで示した成績評価方法の評価配分の割合に基づき厳正に評価し、各科目の到達目標に対して、総合で60点以上の者を単位認定している。また、各科目の担当教員は科目成績書提出にあたり、学務課が指定する成績報告形式に基づき提出している。</p> <p>進級判定は、単位修得状況を学務課がまとめ、進級に必要な単位要件をもとにその要件を満たしているかの一覧表を学務課が作成し、教授会で進級判定を行っている。また、進級判定会議までに必要な学納金等がすべて納入されていることも確認している。判定会議において、担任は進級要件を満たさない学生の状況を必要に応じて説明している。</p> <p>授業概要において、各科目の学修及び毎回の学びでの到達目標および予習と復習で取り組む事項、成績評価方法などを明示しており、科目の学修で到達目標を意識して学修することを目指すよう指導している。これは、単に定期試験のみで60点を取得しても単位は得られないことを示している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  
 成績評価は、平成27(2015)年度からGPAを採用している。GPAは、学生便覧・授業概要に示している。GPAは以下の評価式を用いている。

$$GPA = (\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和} / \text{履修登録した授業科目の単位数の合計}$$

評語に対するGP

可否区分	素点	評語	評価点 (GP)
合格	100点～90点	秀	4
	89点～80点	優	3
	79点～70点	良	2
	69点～60点	可	1
不合格	59点以下	不可	0

客観的な指標の算出方法の公表方法

ホームページーキャンパスライフー学生便覧・授業概要ーGPAについて  
 (<https://www.autjc.ac.jp/campuslife/handbook/>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  
 愛知工科大学自動車短期大学の卒業の認定に関する方針は以下のとおりである。  
 愛知工科大学自動車短期大学では、次のすべての能力を身につけた学生に対して、卒業の認定及び学位記を授与します。

1. 自動車整備士として活躍するために必要な知識・技術を修得している。
2. 豊かな人間性と正しい社会規範意識を持ち、周囲から信頼される素養を身につけている。
3. 円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力を有し、産業界に貢献できる可能性がある。

卒業判定は在籍年数を満足し修得単位数を得ている学生の単位修得一覧表を学務課が作成し、教授会にて卒業要件単位数以上の単位修得者に対して卒業判定を行っている。また、卒業期までに必要な学納金等がすべて納入されていることも確認している。判定会議において、担任は卒業要件を満たさない学生の状況を必要に応じて説明している。  
 なお、卒業要件単位数は64単位以上(必修科目56単位、選択科目8単位以上)である。

卒業の認定に関する方針の公表方法

ホームページー大学案内ー教育方針ー卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)  
 (<https://www.autjc.ac.jp/outline/policy/>)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	愛知工科大学自動車短期大学
設置者名	学校法人電波学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人電波学園公式 Web サイト <a href="https://www.denpa.jp">https://www.denpa.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	学校法人電波学園公式 Web サイト <a href="https://www.denpa.jp">https://www.denpa.jp</a>
財産目録	学校法人電波学園公式 Web サイト <a href="https://www.denpa.jp">https://www.denpa.jp</a>
事業報告書	学校法人電波学園公式 Web サイト <a href="https://www.denpa.jp">https://www.denpa.jp</a>
監事による監査報告(書)	学校法人電波学園公式 Web サイト <a href="https://www.denpa.jp">https://www.denpa.jp</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:愛知工科大学自動車短期大学 中期目標・中期計画 対象年度:2025年度)
公表方法:ホームページ-大学案内-情報公開-中期目標・中期計画-2025年度 中期目標・中期計画 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/">https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/</a> )
中長期計画(名称: ) 対象年度: )
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ-大学案内-情報公開-自己点検評価-令和5・6年度 自己点検・評価報告書【令和6年10月】 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/">https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/</a> )
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ-大学案内-認証評価-2022年度 短期大学認証評価適格認定 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/jihe/">https://www.autjc.ac.jp/outline/jihe/</a> )
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 自動車工業学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ－大学案内－大学理念 <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/spirit/">https://www.autjc.ac.jp/outline/spirit/</a> ）
（概要） ■教育研究上の目的 本学は、国土交通省の定めた認定大学として「二級自動車整備士」の国家資格の取得を通して、自動車工学や自動車整備に関係する知識・技術を修得し、同時に技術者として必要不可欠な「意欲」「人間性」「能力」の三要件がバランスよく向上するよう教育を行うことを目的とする。  ■教育目標 愛知工科大学自動車短期大学では、より複雑化、高度化する自動車技術社会において「二級自動車整備士の資格を有し、確かな基礎能力と幅広い教養を持ち、多様な業種に対応できる人材の養成」を行うため、次のことを目標に人材を養成します。 1. 国家資格である二級自動車整備士を養成します。 2. 本学独自の教育システムにより、「意欲」「人間性」「能力」の三要件がバランスよく向上するよう支援します。 3. 高度に進化を続けるカーテクノロジーをより深く探求し、高機能化、複雑化する自動車整備技術に対応できる人材を養成します。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ－大学案内－教育方針－卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/policy/">https://www.autjc.ac.jp/outline/policy/</a> ）
（概要） 愛知工科大学自動車短期大学では、次のすべての能力を身につけた学生に対して、卒業の認定及び学位記を授与します。 1. 自動車整備士として活躍するために必要な知識・技術を修得している。 2. 豊かな人間性と正しい社会規範意識を持ち、周囲から信頼される素養を身につけている。 3. 円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力を有し、産業界に貢献できる可能性がある。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ－大学案内－教育方針－教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/policy/">https://www.autjc.ac.jp/outline/policy/</a> ）
（概要） ディプロマポリシーに掲げる到達目標を実現するために、次のようなカリキュラム（教育課程）を編成しています。 1. 自動車技術者に必要な科目の学習を通して、自動車工学や自動車整備に関する知識・技術の修得を支援するとともに、二級ガソリン及び二級ジーゼル自動車整備士の受験資格を得ることができます。 2. 基礎教養科目を通して基礎力を築き、セミナーなどを通してコミュニケーション能力と倫理心・社会性を身につけ、豊かな人間性を育成します。 3. グループ学習など能動的な授業によって学習意欲を喚起し、主体性及び協調性を養います。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ－大学案内－教育方針－入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

<https://www.autjc.ac.jp/outline/policy/>

（概要）

愛知工科大学自動車短期大学は、自動車技術を通して自らの心を磨き、高度な技術を習得して、大きな夢に挑戦することができる人を求めます。

1. 自動車に興味があり、自動車産業界で活躍したい人
2. 社会的な秩序や規律をよく理解し、これを遵守できる倫理観を有する人
3. 幅広い人間関係を構築し、他人と協働する意欲を有する人

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ－大学概要－情報公開－教育情報の公表－2025 年 教育情報の公表

[\(https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/\)](https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
自動車工業学科	—	3人	4人	0人	5人	1人	13人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		8人					9人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ—大学案内—教員紹介 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/teacher/">https://www.autjc.ac.jp/outline/teacher/</a> )					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD 活動として、教育及び修学についての情報共有のための全教員を対象とした講演会や授業改善に向けたFDを愛知工科大学と共催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
自動車工業学科	100人	93人	93.0%	200人	195人	97.5%	—人	—人
合計	100人	93人	93.0%	200人	195人	97.5%	—人	—人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
自動車工業学科	64人 (100%)	18人 (28.1%)	44人 (68.8%)	2人 (3.1%)
合計	64人 (100%)	18人 (28.1%)	44人 (68.8%)	2人 (3.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 愛知工科大学工学部、(株)アイシン、(株)愛知日野自動車、いすゞ自動車(株)、(株)ATグループ、NTP名古屋トヨペット(株)、新明工業(株)、(株)グッドスピード、スバル東愛知販売(株)、日産自動車(株)、東海マツダ販売(株)、トヨタ自動車(株)、トヨタL&F中部(株)、東愛知日産自動車(株)、三菱ふそうバス・トラック(株)、(株)ヤナセオートシステムズ、UDトラックス(株)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
自動車工業学科	70人 (100%)	62人 (88.6%)	2人 (2.8%)	6人 (8.6%)	0人 (0.0%)
合計	70人 (100%)	62人 (88.6%)	2人 (2.8%)	6人 (8.6%)	0人 (0.0%)
(備考) 2023年度入学生					

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>学科のカリキュラム・ポリシーをうけて、学生の成長モデルに基づき、各学年に対して教育課程（シラバス）編成方針をまとめ、授業概要に示している。</p> <p>教育課程（シラバス）の見直しは、毎年度学科方針として掲げられており、適宜内容の見直し・検討を教務委員会が中心になり行っている。また、その際には学習成果に対応した授業科目を編成するよう留意している。</p> <p>シラバスの作成においては、学務課より担当教員に作成を依頼している。提出されたシラバスを学務課にて取り纏め、学科長、教務委員会委員長にて、カリキュラム・ポリシーに沿ったシラバスが作成されているか確認を行っている。</p> <p>シラバスの公表については、入学時に「学生便覧・授業概要」として冊子にして配布している。また、短期大学のホームページに公表している。</p>
--

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>単位認定、進級判定は、規定されている各基準条件に基づき運用されている。</p> <p>具体的には、以下のとおりである。</p> <p>単位認定は、各科目教員がシラバスで示した成績評価方法の評価配分の割合に基づき厳正に評価し、各科目の到達目標に対して、総合で60点以上の者を単位認定している。また、各科目の担当教員は科目成績書提出にあたり、学務課が指定する成績報告形式に基づき提出している。</p> <p>進級判定は、学務課が単位修得状況をまとめ、進級に必要な単位要件をもとにその要件を満たしているかの一覧表を学務課が作成し、教授会で進級判定を行っている。また、進級判定会議までに必要な学納金等がすべて納入されていることも確認している。判定会議において、担任は進級要件を満たさない学生の状況を必要に応じて説明している。</p> <p>授業概要において、各科目の学修及び毎回の学びでの到達目標および予習と復習で取り組む事項、成績評価方法などを明示しており、科目の学修で到達目標を意識して学修することを目指すよう指導している。これは、単に定期試験のみで60点を取得しても単位は得られないことを示している。</p> <p>卒業認定に関する方針は以下のとおりである。</p> <p>愛知工科大学自動車短期大学では、次のすべての能力を身につけた学生に対して、卒業の認定及び学位記を授与します。</p>
---

1. 自動車整備士として活躍するために必要な知識・技術を修得している。
2. 豊かな人間性と正しい社会規範意識を持ち、周囲から信頼される素養を身につけている。
3. 円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力を有し、産業界に貢献できる可能性がある。

卒業判定は在籍年数を満足する修得単位数を得ている学生の単位修得一覧表を学務課が作成し、教授会にて卒業要件単位数以上の単位修得者に対して卒業判定を行っている。また、卒業期までに必要な学納金等がすべて納入されていることも確認している。判定会議において、担任は卒業要件を満たさない学生の状況を必要に応じて説明している。

なお、卒業要件単位数は63単位以上（必修科目55単位、選択科目8単位以上）である。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	自動車工業学科	63単位	(有)無	42単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：ホームページ—キャンパスライフ—学生便覧・授業概要 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/campuslife/handbook/">https://www.autjc.ac.jp/campuslife/handbook/</a> )		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：ホームページ—大学案内—情報公開—成績の分布状況 ( <a href="https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/">https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/</a> )		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ—大学案内—情報公開—教育情報の公表—2025年教育情報の公表  
(<https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
—	自動車工業学科	1年次	840,000円	250,000円	265,000円	その他に含まれるものは、教育充実費と委託徴収金
		2年次	840,000円	—円	280,000円	その他に含まれるものは、教育充実費と委託徴収金

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>■総合教育センター            数学や物理、化学、英語といった基礎科目に不安を抱える学生や、また、もっと深く学習して理解を深めたい学生の支援を行っている。            学力レベルや目標に応じて基礎科目を納得行くまで学べるよう、センター教員がマンツーマンで個別指導し、理解や習熟度を高める。            ほかに授業と並行して少人数で行われる基礎学力増進プログラム（リメディアル教育）やWebによる教材やコンテンツの配信など、多彩なプログラムを通して学習支援を行っている。</p> <p>○クラス担任制            学生が本学での学習環境に適応してスムーズな修学ができるようにクラス担任制度を設けている。クラス担任が学生一人ひとりの履修科目や出欠席または単位取得状況を把握して、学生それぞれの状況や個性に合わせた指導を行っている。            クラス担任の主な役割として、年度当初でのオリエンテーション（履修指導）、学生の修得単位の把握、出席状況の把握および長期欠席学生の指導・助言、成績不良者への指導・助言、休学・退学・復学・留学への対応と指導・助言、学生の将来の進路に関する指導・助言、学生生活上の諸問題に関する指導助言などを行っている。</p> <p>○オフィスアワー            全教員が学生との相談に応じる時間帯（オフィスアワー）を設けている。教員の指定する時間帯であればいつでも、勉学に関する質問や進路、大学生活など様々な相談に個別で応じている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>■キャリアセンター            専任職員が常駐して学生の就職相談や職業紹介、履歴書やエントリーシートの添削、面接指導などの就職サポートを行っています。さらに、各種資格試験や検定試験にチャレンジするための様々な講座も開講。資格取得は就職に有利なだけでなく、将来の可能性を広げるための大きな武器となります。スキルアップや修学意欲の高揚のためにも、様々な資格・検定試験にチャレンジすることを奨励しています。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>保健室            簡単なケガや病気の応急処置を受けたり、備え付けのベッドで安静・休養をとることができる。必要に応じ、医師の診療を受けてもらったり、帰宅させたりすることがある。</p>

ります。  
○学生相談室  
学業や学習意欲、進路などの修学上のこと、経済的問題や家庭問題、対人問題や学生生活における問題などについて、相談を受けてサポートしています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ－大学案内－情報公開－教育情報の公表－2025 年教育情報の公表  
(<https://www.autjc.ac.jp/outline/disclosure/>)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F223310107030
学校名 (〇〇大学 等)	愛知工科大学自動車短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人電波学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		15人（ 0）人	16人（ 0）人	17人（ 0）人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅲ区分	0人	一人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	一人	一人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
区分外（多子世帯）	人	人		
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				17人（ 0）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	一人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	人	0人	一人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	一人
計	人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）		
年間	人	前半期	後半期	0人
				0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	一人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	一人	一人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。